

# 自己評価結果公表シート

2019年度

明星小学校

## 1. 学校の教育目標

### 賢さと豊かさを兼ね備えた、輝きをもった子どもの育成

明星小学校では、建学の精神「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」を受け継ぎながら、教育目標「正直なよい子」の育成を目指している。2018年度から、『賢さと豊かさを兼ね備えた、輝きをもった子どもの育成』をテーマに、

- ・これからの社会に必要なグローバル力を育む「英語力」と「理数力」を重視した教育
- ・深い学びと豊かな心を育む五感を通して感動を体験する教育と高い教育力

に焦点を当て、子どもたちの心が開き、学び、成長していく、さわやかな風が流れる学校を目指し、子どもたち、保護者、教職員一同がチームを組んで一緒に学校を創っている。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

### (1) 教育力向上

- ① これからの社会に必要なグローバル力を育む「英語力」と「理数力」を重視した教育
- ② 深い学びと豊かな心を育む五感を通して感動を体験する教育と高い教育力

### (2) 一貫教育の推進

- ① 子ども力を最大限に伸ばす一貫教育の確立
- ② 特色ある「明星ブランド」を創る

### (3) 広報活動の強化

- ① 「教育の明星」をブランド化する広報戦略

### (4) 働き方改革の推進

- ① 「楽しい」と思える職場の確立
- ② 職員会議、企画運営会議を原則、月1回それぞれ設置する
- ③ 仕事内容の効率化を図る
- ④ 働きやすい環境・制度の確立
- ⑤ 会議日、研修日のための時程を設定する

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 教育力向上 ・「英語力」と「理数力」を重視した教育 ・感動を体験する教育と高い教育力	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者満足度アンケートの結果からみて、「英語力」、「理数力」の強化に関しては、英語、算数と比べ理科はやや低いものの、全体値と比較して満足度が高く、多くの学年で昨年度よりも満足度が上がっている。一方で、学年差、学級差も見られるようになってきている。</li> <li>・算数校内研究会の充実により、算数に限らずに授業力のアップが見られ、C R T（教研式教育検査）の結果も概ね全国平均を上回っている。</li> <li>・授業力向上に関しては、算数科に焦点を当て、校内研究会18回（内授業研究会6回）を実施、授業づくりの在り方について研究、その成果を共有できた。</li> <li>・2回の外部向け公開授業研究会（第13回、14回明星算数講座）では、延べ約200名の参加者が得られ、本校の特色を外部へ広く発信できた。</li> </ul>
(2) 一貫教育の推進 特色ある「明星ブランド」教育を創る	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「英語力」と「理数力」を重視した教育の充実を図ると共に、「先進的なプログラミング教育」を、連携（ベネッセコーポレーション株式会社と明星大学情報学部）を図りながら研究を進め、次年度の大きな柱の一つとして得ることができた。</li> </ul>
(3) 広報活動の強化	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的・効果的な広報活動の成果で、認知度、評判等も向上（学校説明会参加者は前年より25%増）することができた。</li> </ul>
(4) 働き方改革の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議、企画運営会議を原則、月1回それぞれ設置して、共通理解と連携を密にとりながら運営を図った。それにより、スムーズな運営と勤務時間の短縮につなげることができた。</li> <li>・教師アンケート、保護者アンケートの結果を機会あるごとにフィードバックしていきながら、校務分掌や行事の見直しを図り、教師自身の変容を促していくことができた。</li> </ul>

### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者満足度アンケート、教師アンケートの結果、C R Tの結果、広報活動の成果等から、チーム学校力に大きな向上が見られ、特色ある「明星ブランド」教育の姿が見られるようになってきた。また、取り組む方向の正当性が確認できただけでなく、2020年度に向けての方向性と課題を得ることができた。</li> </ul>

#### ◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

## 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
<p>・授業力の向上を図るとともに、「明星ブランド」を創り、浸透させていくこと</p>	<p>・「賢さ」と「豊かさ」をテーマに、一つの柱として「英語、理数、先進的プログラミング教育」を、もう一つの柱として、「体験、心の教育」を挙げ、ブランド化していく。また、教師の授業力も一つのブランドとして培っていきながら、外部に発信していく</p> <p>・教師の授業力の差に関しては、アセスをもとに個々に応じて面談、指導して授業力の向上を図っていく。</p> <p>・学習指導要領全面実施に伴うカリキュラムの見直し、特色あるプログラムの開発、重点研究に力を入れ、その成果を算数授業研究会として 2020 年 12 月 5 日（土）に開催、外部へ発信していく。</p>
<p>・広報活動のさらなる充実と幼稚園との連携</p>	<p>・広報活動を更に充実させ、特色を発信する。</p> <p>・幼小一貫教育の充実を図っていくため、小学校教員に幼稚園園長補佐を兼任させる。</p>
<p>・働き方改革を推進していくこと</p>	<p>・今まで伝統的に行われてきた行事や慣習の意義やねらいを再度見つけ直し、その精選を図っていく。</p> <p>・実験的に変形労働性を取り入れ、仕事内容の効率化を図りながら、働きやすい環境を整備していく。</p>

### ※記入に際しての留意点

- 「3. 評価項目の達成及び取組状況」の理由については、指標や基準等の内容に基づいた成果や取組の状況、評価結果の根拠を記入する。
- 「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」については、「3. 評価項目の達成及び取組状況」を総合的に評価して記入する。
- 「5. 今後取り組むべき課題」については、評価項目を課題とするだけでなく、指標や基準等、できるだけ具体的な視点から課題を記入することが望ましい。
- このシートを作成するに当たり、教職員の「個人評価シート」や、個々の指標や基準等を評価する「補助シート」を作成することも考えられる。